

第1学年〇組 学級活動（1）学習指導案

令和2年〇月〇日（〇）第〇校時

授業者 〇〇 〇〇

男子 〇名 女子 〇名 計 〇名

1 議題 「クラスの仲を深める交流会をしよう」

内容（1）学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

（1）生徒の実態

本学級の生徒は、明るく活発で授業や話し合い活動で自ら挙手・発言する生徒が多い。学校が再開して約半年が経過し、他の小学校の人とも仲よくなってきている。中学校生活の学習面や生活面でも慣れてきていて、よりよい学校生活を送るために、様々な面で意欲的に取り組んでいる。

学級活動では、積極的に参加する生徒が多い。一人一人が自分の意見を持ち、話し合いに参加している。活発な話し合いにより様々な意見が出され、スムーズに進める事ができる。一方で、なかなか発言できない生徒もいる。自分から挙手が難しい場合は、指名して発言の場を設けている。このような生徒もしっかり自分の意見を持っているため、しっかりと話し合いに参加することができる。

（2）議題選定の理由

クラスでは、他の小学校の人とも仲よく出来ている。しかし、決まった友達としか話さないことが多い。本議題は、交流会をすることで、クラス全体で仲よくなれるのではないかと、という思いから選定されたものである。生徒一人一人が学級の一員としての自覚と責任感を持ち、話し合い、みんなで決めた内容を実行することに重点を置き、生徒が自主的に学級生活の充実と向上にむけて、実践できるようにしたい。

3 指導のねらい

○他者の意見を尊重する態度を育み、互いのよさを認め合う人間関係の形成を図る。

○集団決定した取組に積極的に関わろうとする態度を身に付け、自発的・自治的能力を高める。

4 評価の視点と実践における評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
学級の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の生徒と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	学級の一員として自己の役割と責任を持ち、他の生徒の意見を参考にしながら、集団におけるよりよい生活づくりについて考え、判断している。	充実した集団生活を築くことの意義や学級生活づくりへの参画の仕方、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方などについて理解している。

5 展開の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

期日	活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
○/○ (○)	学級活動	全員 話し合いたい議題を提案用紙に記入し、提案する。	学級生活の充実や向上に向けた議題を記入できるように説明する。	進んで意見を書き、学級の一員として進んで取り組んでいる。 【観察】【議題提案用紙】
○/○ (○)	放課後	学級活動委員 議題を決定する。	学級生活の充実や向上に向けた議題となるよう留意する。	学級活動委員として学級会が活発になるよう、進んで話し合いをしている。【観察】
○/○ (○)	放課後	学級活動委員 ・提案理由・話し合いのめあて、柱等を検討する。 ・学級会準備	提案理由を踏まえた柱立てを考えさせる。	学級活動委員として学級会が活発になるよう、進んで話し合いをしている。【観察】
○/○ (○)	学級活動	全員 学級会ノートに意見を記入する。	・課題を踏まえて解決策を考えるようにする。 ・自信をもって発言できるように励ましの言葉を記入する。 ・学級会ノートを回収し、話し合いの進め方を見通しておく。	進んで意見を書き、学級の一員として進んで取り組んでいる。 【観察】【学級会ノート】
○/○ (○)	放課後	学級活動委員 議事進行計画を立てる。	学級全員の意見に目を通し、提案理由等に沿った計画となるよう留意する。	学級活動委員として学級会が活発になるよう、進んで話し合いをしている。【観察】
○/○ (○)	朝の会	全員 学級会ノートを返却し、ノートを基に考えを見直す。	学級会に向けて、自分の意見に再度目を通して意欲的に発言できるように励ます。	学級会ノートを見直し、進んで学級会に参加しようとする姿勢をつくる。【観察】

(2) 本時の指導と生徒の活動

ア 議題「クラスの仲を深める交流会をしよう」

イ 本時のねらい

学級の一員として、学級生活の充実と向上を目指した意見を出し合い、折り合いをつけた話し合いをする。

ウ 展開

	活動内容	指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿 (観点) 【評価方法】	資料等
活動の開始5分	1 はじめの言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 決まっていることの確認 6 教師の説明	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動委員会で検討された過程、経過を示したうえで、本時の概要を学級全体に説明する。 ○/○ (○) 準備 ○/○ (○) 1時間で交流会 場所：教室 	板書 板書 板書
活動の展開40分	7 話し合い (1) 柱1 「何をするか」 ・意見を比べ合う。 ・意見をまとめる。 (2) 柱2 「クラスの中を深めるためにどんな工夫ができるか」 ・意見を比べ合う。 ・意見をまとめる。 (3) 柱3 「分担決め」 ・意見を比べ合う。 ・意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ多くの生徒に発表させる。 提案理由を補足しながら、学級への所属感が深められるような話し合いになるよう助言する。 ◎提案理由に基づいて、意見を考え、理由を示して述べている。(思) 【観察】【学級会ノート】 ・よりよい考えを見出すために、似た意見を合わせるなど創意工夫を行い、全員の賛成で決定できるようにする。 ◎学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方について理解している。(知) 【観察】 ◎柱1で決まった内容に基づき、仲を深めるための交流会に取り組むための工夫を意欲的に考えている。(関) 【観察】【学級会ノート】 ・全生徒が参加し、学級のために協力して取り組む役割をたくさん出せるよう、事前に学級会ノートを見て、生徒の意見を把握し、発言を後押しするコメントを書く。 	学級会ノート
活動のまとめ5分	8 決定事項の確認 9 自己評価・感想記入 10 教師の話 11 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> 時間があれば発表させる。 話し合いの流れを方向づけた発言や学級活動委員の活動などを称賛するとともに実践へ向けて活動意欲を高めることができるように助言する。 	板書・学級会ノート

(3) 事後の指導と生徒の活動

期日	活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
○/○ (○)	学級活動	役割ごとの活動	目的を確認し、進んで活動に取り組めるようにする。	交流会を成功させようと、進んで活動している。【観察】
○/○ (○)	学級活動	実践	今まで頑張ってきたことを想起させ、意欲が高まる言葉かけをする。	学級の一員として、自分の役割を果たし、一生懸命活動している。【観察】
○/○ (○)	学級活動	振り返り	静かな環境で、じっくり振り返らせる。	今後も学級での課題を解決し、協力してよりよい学級にしていこうとする姿勢が見られる。 【観察】【ワークシート】

7 板書計画

話し合うこと③	話し合うこと②	話し合うこと①	話し合いのめあて	提案理由	議題	第二回 学級会
---------	---------	---------	----------	------	----	------------